

北アルプス：蝶ヶ岳

- ◆日程 2023年9月30日(金)～10月2日(月)
 ◆メンバー L：DT、SKH、HK、OK

紅葉の涸沢でテント泊をしてみたい、という会員の声にこたえて秋の涸沢テント泊を企画した。生憎の天候で涸沢は断念、横尾定着の蝶ヶ岳へ転進となったが、北アルプスでのテント泊3日間という経験を通してテントでの連泊やテント泊装備の重さに慣れるといった体験をしていただけたと思う。私自身も新人リーダーとして学ぶことの多い実りの山行となった。紅葉の涸沢はまだリベンジだ。
 (記：DT)

9月30日(土) 天候：晴れのち雨

秋雲漂う気持ちの良い青空のもと、6時ちょうどに上高地を出発。本来ならば涸沢に2泊、北穂登頂を目指していたが、午後から悲しき雨予報…DTリーダーの最終判断は横尾定着、蝶ヶ岳ピストンであった。計画書を2パターン準備下さっていたため、残念という気持ちも不安もなかった。

横尾にてまずはテントの設営。二度目なのにインナーテントのフックにフライシートを止める前にポール固定してしまった私でした(次回こそ滞りなく張る予定です!)その後は時間と天気を考慮しつつ、涸沢方面へ散策に向かうこととなった。本谷橋では沢の音を聞きながら休憩。本日のゴール(折り返し)は本谷出合付近となった。ちょうど憧れの涸沢カールが望める地点で、テンションが上がる新人一同。次の機会に夢膨らませつつ、記念撮影をして1,620mへ下った。夕食は私が担当、水を足すだけでできる麻婆春雨ときのコスープ、梅干しにアルファ米というメニュー。

初めてのテント2連泊だったが、リーダーによる丁寧な事前指導があり不安なく参加することができた。また事前の自主トレで成功体験ができたのも嬉しかった。
 (記：SKH)

CT：上高地 BT6:00 - 明神館 6:50 - 徳沢園 8:00 - 横尾
 9:15(テント設営)10:30 - 本谷橋 11:32 - 本谷出合
 付近 12:15 - 本谷橋 13:10 - 横尾 14:03



10月1日(日) 天候：雨のち晴れ

昨夜から降り続く雨が止まず1時間遅らせ7時に横尾を出発した。蝶ヶ岳までは9割が樹林帯の為雨はそんなに気にならないと思っていたが、湿度が高いのには閉口した。それでも雨に濡れた木々や苔は生き生きとして切り株には小世界が広がり、流れる雨はいくつもの小滝を作っていた。



樹林帯が終わる頃に雨が止みひと息つくのも束の間、風速 20m はあるのではないかと思う強風が吹き荒れていた。強風体験は初めてで苦労したが、小屋の人に平均でも 10m くらいですよ、と言われ更に驚いた。

小屋でホットドリンクを飲み身体を温め頂上に行くと、青空が見られ山の稜線の美しさに目を奪われた。槍ヶ岳だけは雲に隠れていたが下山時に少しだけ見ることもできた。

自分が打ったペグが外れていたり、ストックで木の階段を突いてしまっていたり、装備の不備など反省点多々ある山行でしたが、DT リーダーのお陰で初めてのテント2連泊も無事に体験させていただくことができた。リーダーと、ご一緒いただいた皆さまありがとうございました。(記：HK)



CT:横尾7:00-蝶ヶ岳ヒュッテ10:20(休憩)-蝶ヶ岳11:00-蝶ヶ岳ヒュッテ12:00-横尾14:50

10月2日(月) 天候：晴れ

良い天気の中、後ろ髪引かれながらも、上高地に向けて横尾を後にした。道中、15kg を超えると思われるDTリーダーのザックを、試しに代わる代わる背負わせていただきながら歩を進めた。個人的には、会話や挨拶を放棄すれば、平地であればなんとか歩けることがわかったが、緩やかな上り坂ですら息が上がってしまった。また、左右にバランスを崩してしまったり、まだまだリカバリーは難しいと感じた。今後の山行に備えて少しずつ重量を増やすなどトレーニングに励みたい。最後に、河童橋から素晴らしい眺めを楽しんで解散した。改めて、今回の企画をしていただいた上、多くの荷物を担いでいただいたDTリーダーに心より感謝をお伝えします。(記：OK)

CT:横尾6:00-上高地河童橋8:30

